



学校だより

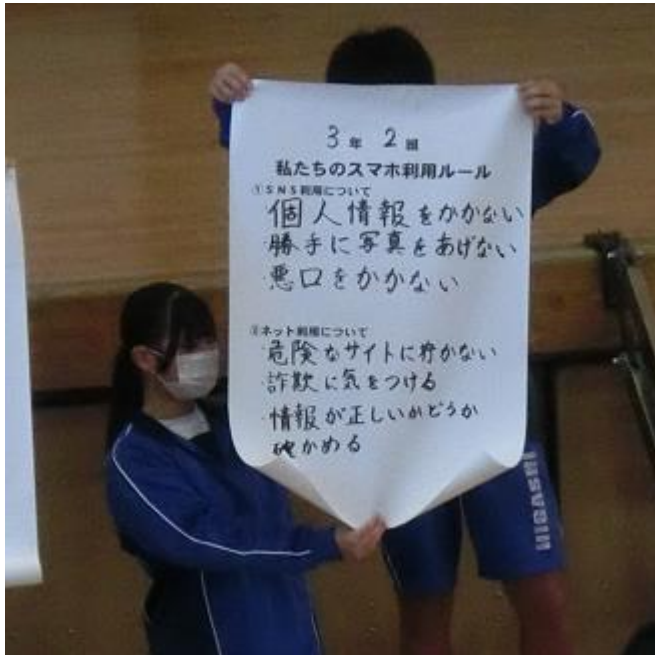
志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和5年10月5日
第9号

自分たちでつくった「スマホ利用ルール」

校長 清水 利浩



ネットでのやりとりは、実際に相手と向かい合っていないため、目の相手が「嫌な気持ちだろうな」といったことがわかりません。そのため、遠慮がなくなりがちで、その場の「ノリ」でエスカレートすることもあります。そこで、様々なトラブルも起きてしまいます。

スマホを片手に眠ることも。次々と流れてくるSNSの情報に反応してしまう。みんなの話題をチェックできているか。自分だけがのり遅れないように。

ネットの中での生活時間も増え、スマホの着信音に全ての作業をやめて、反応してしまう「**スマホの奴隷**」になってしまいそうです。

2017年度の厚生労働省の調査では、中高生の7人に1人が「ネット依存症」の可能性があるとされました。現在は、もっと増えていると考えられます。

そこで、こうした**ネットトラブルの対策**として、**熊谷東中生徒会本部役員の皆さんがアンバサダー(代表)となって、学級委員に声をかけ、各クラスのルールを決めてもらいました。**

ネットを通して、どういう時に困り、いやだと感じるか、皆さんに議論してもらうことで、他者への理解が進み、ネットトラブルを予防できるのではないかということです。

この試みは、5年前の令和元年度、熊谷東中学校の先輩たちの生徒会本部役員が、「**スマホ使い方宣言**」を作成しました。これは、熊谷東中のホームページのトップページにも掲載されています。その宣言の**[前文]**には、こう書かれています。

「スマートフォン、携帯電話はインターネットにつなぐことができる大変便利な道具です。しかし、一歩使い方を間違えると、自分や周りの人を傷つけます。私たちは、スマートフォン・携帯電話などを原則持ちません。もし、スマートフォン・携帯電話などを使う場合は、使い方やルールを家族と約束し、誰も傷つけることなく、賢く上手に使うことを誓います。」

そして、熊谷東中学校生徒会は、4つの宣言を出しました。

- ①自分や周りの人の情報を守ります。
- ②他人を傷つけません。
- ③様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。
- ④インターネットにつながる機器にはフィルタリングを設定してもらいます。



例えば、②の「他人を傷つけません」の項には、次のように書かれています。

「画面の向こうには相手があります。「バカ」「うざい」「むかつく」「死ぬ」等、相手を傷つけるような言葉、自分が書き込まれて嫌なことやうそを絶対に書き込みません。また、写真・動画なども勝手に載せたり、拡散したりしません」と。

5年前のこの素晴らしい宣言は、熊谷市内全ての中学校の生徒会に広がりました。

しかし、月日が経つにつれ、この素晴らしい試みは、風化しかけています。一方で、ネットをはじめとする情報化は、急速に進んでいるのに。

ここに、この「スマホ使い方宣言」をもとに、生徒会本部がアンバサダーとなって立ち上がり、各クラスが話し合いをもって、自分たちで気をつけようと動いたのです。10月3日の全校朝会では、各クラスの学級委員さんが自分たちのクラスで決めた「私たちのスマホ利用ルール」を発表してくれました。ありがとうございました。

様々な考え方をもち他人と生活するのは時に難しいものです。今後も、トラブルを起こしてしまうこともあるでしょう。学校は、その解決に向けた、スキルを学ぶ場でもあります。

ネットが生活に欠かせなくなった今、私たちがネット等の ICT を遠ざけたり、大人の監視を強めたりしても、根本的な解決にはならないでしょう。

皆さんたちが自分たちで解決する力をつけていくことが大切なのです。